

各分野における主な提案品目及び検討方針等について（案）

1．各分野における主な提案品目について（資料2別紙参照）

例年どおり、特定調達品目に係る提案新規提案品目や既存品目の判断の基準等の見直しに関する提案募集を実施（6月12日から7月10日の約1ヶ月間）したところ、資料1に示したとおり、物品60品目、役務17品目、公共工事36品目¹の計113品目の提案があった。

2．提案内容及び提案品目に係る検討方針等

各品目の提案内容及び留意点等を踏まえた物品・役務の現段階における検討方針等は、以下のとおりである。

なお、今後、必要に応じて提案者に対する追加資料の提出依頼、ヒアリングの実施等を行い、提案品目の環境負荷低減効果、供給状況等を調査・検討するものとする。

（1）紙類

コピー用紙

- 総合評価指標において基本項目である「その他持続可能性を目指した原料の調達方針に基づいて使用するパルプ」の重み付けを森林認証パルプ、間伐材パルプと同一にすべき
- 保護価値の高い森林からの原料の不使用
 - ➔ 本年度から総合評価指標が導入されたところであることから、現状把握のため各種情報の収集を行う（詳細は紙類・印刷分科会において検討）
- 炭酸カルシウムを使用したストーンペーパー
 - ➔ 具体的な環境負荷低減効果、市場における競争性の担保について確認が必要（同時に提案されているインクジェット用塗工紙や事務用封筒等の文具類についても同様）

¹ 他にロングリスト掲載品目への追加提案33品目。

コピー用紙以外の紙類

- 印刷用紙への総合評価指標の導入、自然林からの原料の不使用
→ 印刷用紙への総合評価指標の導入等については、紙類・印刷分科会において検討。
- 紙芯がないロール紙、大型プリンタ用コアレスロール紙
→ 国等の機関における調達実績、市場における競争性の担保について確認の上、省資源・廃棄物削減等の観点から検討を実施。

(2) 文具類

- 往復封筒
→ 1 枚で 2 度（往復）利用できる封筒であるが、上市前の製品であり、供給体制・供給時期の確認が必要。

(3) OA 機器

- トナーカートリッジ、インクカートリッジの判断の基準への適合性確認
→ 化学安全性やリサイクル等の判断の基準の適合性を担保するための書類の確認の必要性について、事業者へのヒアリング結果等を踏まえ、必要に応じて備考に記載する等の検討を実施。

(4) 照明

- 蛍光灯関連照明器具（反射板付蛍光灯）
→ 上市前の製品であり、供給体制・供給時期の確認が必要。
- 直管蛍光灯型 CCFL 照明
→ 省エネルギー、長期使用の観点から、冷陰極蛍光管（Cold Cathode Fluorescent Lamp）の市場への供給状況の確認、配線工事の必要性、価格面の課題等を踏まえ、検討を実施。
- LED 照明器具（原則として従来の蛍光ランプの取替）
→ 省エネルギー、長期使用の観点から、市場への供給状況の確認、価格面の課題等を踏まえ、検討を実施。
- 無電極ランプ照明器具
→ 省エネルギー、長期使用の観点から、当該照明の用途（水銀灯の代替照明としての提案）等を踏まえ、検討を実施。

(5) 自動車等

- リグループ可能なトラック・バス用タイヤ
 - ➔ リグループ（タイヤの残溝が磨耗末期付近になった時点で新たな溝を彫ること）による長期使用、転がり抵抗の低減による燃費向上の観点から、国等の機関における調達実績等を踏まえ、検討を実施。
- 商用車（貨物）用タイヤ
 - ➔ 一般公用車用タイヤと同様に、転がり抵抗の低減による燃費向上の観点から、国等の機関における調達実績等を踏まえ、検討を実施。
- 非使い捨て式自動車エンジン用カートリッジ式オイルフィルター
 - ➔ 具体的な環境負荷低減効果、国等の機関における調達実績、市場への供給状況等を踏まえ、検討を実施。

(6) 繊維製品（制服・作業服、インテリア・寝装寝具、その他の繊維製品）

- 再生 PET 樹脂の判断の基準の見直し（配合率の引き上げ）
 - ➔ 原材料の供給状況、価格等を踏まえ、品目ごとに繊維製品分科会において検討を実施。
- 回収・リサイクルシステムの判断の基準への格上げ
 - ➔ 回収・リサイクルシステムについては、資源の有効利用、廃棄物削減等の観点から、積極的な評価が必要であり、繊維製品分科会において検討を実施。
- 植物を原料とする合成樹脂を使用した繊維製品
 - ➔ 品目別の LCA 分析等の結果を踏まえ、繊維製品分科会において検討を実施。
- サイジング（糊付け工程）を行わないタオル
 - ➔ 製品の特性に関係しない生産工程における環境負荷低減効果であることから PPM（Processes and Production Methods）を踏まえ、慎重な検討が必要。

(7) 設備

- 結露防止器、気密性テスター
 - ➔ 具体的な環境負荷低減効果、国等の機関における調達実績、市場への供給状況等の確認が必要。
- 可搬式消防ポンプ（４ストロークエンジン）
 - ➔ 国等の機関における調達実績、市場への供給状況等の確認が必要。
- 古紙リサイクル装置（シュレッダー古紙のトイレトペーパーへの再生）

- ➔ 市場への供給状況等の確認が必要。
- 電気サーボモーター式万能試験機
 - ➔ 具体的な環境負荷低減効果、国等の機関における調達実績、市場への供給状況等の確認が必要。

(8) 防災備蓄用品

- ぶどう糖
 - ➔ 具体的な環境負荷低減効果、国等の機関における調達実績の確認が必要。

(9) その他（生活雑貨）

- 廃食用油再生洗剤
 - ➔ 国等の機関における調達実績、市場への供給状況を確認の上、検討を実施（清掃の手洗い洗剤に廃食用油等の再生洗剤を選定済）。
- 植物を原料とするプラスチックを使用したポリ袋・ゴミ袋等
 - ➔ ポリ袋については、国等の機関における調達実績、供給状況の確認の上、検討を実施。
 - ➔ ゴミ袋については、地方公共団体における指定ゴミ袋との整合を図るなどの課題の解決が必要。

(10) その他

- 観葉植物
 - ➔ 室内観葉植物（リユース・再生可能な植込み材を使用）については、国等の機関における調達実績の確認が必要。なお、役務の観葉植物レンタルサービスと併せて検討を実施。
- 掛け時計
 - ➔ 太陽電池及び充電電池で駆動する掛け時計については、国等の機関における調達実績等を踏まえ、検討を実施。
- ダンボール製品（貼合用糊添加剤配合）
 - ➔ 具体的な環境負荷低減効果、国等の機関における調達実績の確認が必要。
- リユースびんを利用した飲料
- リユース食器
 - ➔ 会議・イベント等における国等の機関の調達実績、市場への供給状況等を踏まえ、検討を実施。なお、食堂の判断の基準としてリユース食

器を設定済。

- ステンレス製鏡
 - ➔ 環境負荷低減効果、国等の機関における調達実績、市場への供給状況の確認が必要。
- ペーパーホルダー
 - ➔ 環境負荷低減効果、国等の機関における調達実績、市場への供給状況の確認が必要。
- 植物を原料とする合成繊維を使用した会議・イベント向け繊維製品²
 - ➔ 品目別の LCA 分析等の結果を踏まえ、繊維製品分科会において検討を実施。

(11) 役務

印刷

- 古紙リサイクル適性ランクリストを見直すべき（抄色紙、ファンシーペーパー等）
- 板紙へのリサイクル促進の観点から B ランクの紙も印刷物の材料として使用可とすべき
 - ➔ 「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」の検討状況を踏まえ、印刷の判断の基準等への適切な反映を図る（詳細は紙類・印刷分科会において検討）。
- VOC 低減型インキ、水なし製版、ケミカルレス刷版、デジタル出力構成紙による印刷工程の環境負荷低減
 - ➔ 印刷工程における環境負荷低減については、紙類・印刷分科会において検討。

印刷以外の役務

- 木材防蟻・防虫・防腐
 - ➔ 国等の機関の調達実績等を踏まえ、検討を実施。なお、庁舎管理の植栽管理、害虫駆除の判断の基準等と併せ検討を実施。
- 観葉植物レンタルサービス
 - ➔ 国等の機関における調達実績の確認が必要。なお、物品の観葉植物と併せて検討を実施。

² 現行の基本方針の分野以外の品目をその他として分類しているが、繊維製品の一部品目について提案者から「その他（会議・イベント用品）」として提案されているため、現段階では便宜上その他に含めて整理している。

- 機密文書処理
 - ➔ 機密文書処理を「廃棄物処理」として扱う地方公共団体が一部にあることから、機密文書処理事業者へのヒアリング結果等を踏まえ、必要に応じて備考に記載する等の検討を実施。
- 食堂及び調理場で使用される洗剤（PRTR 法指定化学物質を含有しない洗剤（廃食油又は動植物油脂を原料とした石けん液、石けん等））
 - ➔ 食堂の判断の基準等としての設定可能性を検討。なお、庁舎管理の清掃において廃食油又は動植物油脂を原料とした石けん液、石けん等について設定済。
- 食堂で使用される箸
 - ➔ 既に食堂の判断の基準として繰り返し使用できる食器を設定済であり、間伐材、端材等を使用した割り箸について検討を実施。
- 自動車整備（廃棄物分別・適正管理、バッテリー・タイヤの回収・リサイクルシステムの構築、使用済み LLC の再利用・適正処理）
 - ➔ 自動車整備の判断の基準等としての設定可能性を検討。なお、エンジン洗浄の判断の基準の見直しに向けた継続的な情報蓄積等と併せて検討を実施。